

第35回白鷹スキー場祭り 大盛況！しらたか冬のフェスティバル

2月26日、白鷹町営スキー場において「第35回白鷹スキー場祭り」が開催され、また、前日の夜にはその前夜祭が開催されました。

久しぶりの開催となった前夜祭では、地元鷹山地区（萩野・中山・滝野）の若者によるT（鷹山）級グルメ合戦が行われ、それぞれに工夫を凝らした自慢の“グルメ”を来場者が試食。投票の結果「塩こうじなべ」を作った滝野地区が見事優勝し、その後、満天の星が輝く夜空に大輪の花火が打ち上がり、フィナーレとなりました。

また、スキー場祭り当日も好天に恵まれ、町内外から多くの家族連れなどが来場。豪華賞品の当たる「お楽しみ抽選会」には長蛇の列ができ、毎年恒例の「滑ってゲット（雪上そり）」「空からの贈り物（パラグライダーによる空中からのプレゼント）」「餅つき大会」といったイベントは大賑わいとなりました。

さらに、祭り期間中はリフト料金が無料ということで、「おどる！シラタカ・レッド」のBGMが流れるゲレンデで、多くの方がスキーやスノーボードを思う存分楽しみました。



1_ 青空が広がる最高の天気にも恵まれたスキー場祭り
2_ 滑って転んで白熱した「滑ってゲット」 3_ 絶好のコンディションの中、白銀のゲレンデを気持ちよさそうに滑るスキーヤーたち 4_ 祭りの最後には恒例の餅つき大会が行われ、子どもから大人までつきたてのお餅をほおばった 5_ T（鷹山）級グルメ合戦で見事優勝し、喜びの表情を見せる滝野地区の“若者”たち 6_ 約300発の花火が白鷹の冬の夜空を彩った

1_ 気持ちを込めて調理されたアツアツの鍋が来場者の体と心を温めた 2_ 「おつかれ～モツカレーモツ食べたい」を作った荒砥高校が見事初優勝 3_ イルミネーションの光が会場を幻想的な雰囲気に変えた



第10回十王雪まつり みんな混ざって つながって

開催10周年の節目となった十王雪まつりは2月5日、山峡の里交流広場で盛大に開催されました。

メインイベントである雑煮鍋合戦では、2町内の荒川一穂さんが「四六時中“鍋”のことを考えてきたので、おいしくないわけがありません」と力強く宣誓。十王区内をはじめ、荒砥地区、滝野地区、荒砥高校の計9チームがそれぞれの自慢の味を競い合いました。また、今年は会場のレイアウトが一部変更され、新たにイルミネーションによる演出が行われるなど雰囲気が一変。会場は冷え込みましたが、十王区内外から400人近くが来場し、鍋から立ち上る白い湯気とともに地域を越えたつながりの輪が広がりました。